

平成 25 年度第 1 回西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進協議会 議事録

■日 時：平成 26 年 2 月 17 日（月）13:00～15:00

■場 所：兵庫県立先端科学技術支援センター ゲストハウス棟 2 階 多目的室

■出席者：別紙

■議 題：

- (1) 協議会委員及びワーキング構成員の変更について
- (2) 第 1 回ワーキングでの主な意見について
- (3) 推進計画の概要について
- (4) 推進計画に基づいた施策の進捗について
- (5) 推進計画の見直し(案)について
- (6) 意見交換及び質疑応答

■配付資料：

- 資料-1 西播磨西部(千種川流域圏)地域総合治水推進協議会設置要綱
- 資料-2 西播磨西部(千種川流域圏)地域総合治水推進協議会公開要領
- 資料-3 第 1 回協議会ワーキングでの主な意見
- 資料-4 第 1 回ワーキングでの主な意見
- 資料-5 西播磨西部(千種川流域圏)地域総合治水推進計画（概要版）
- 資料-6 推進計画に基づいた施策の進捗及び今後の予定
- 資料-7 推進計画に基づいた施策の進捗状況(PP 資料)
- 資料-8 田んぼダムの実証実験検証結果について
- 資料-9 西播磨西部(千種川流域圏)地域総合治水推進計画の見直し(案)
- 資料-10 今後の予定について

【参考資料】

総合治水条例の概要(パンフレット)

●開会

●あいさつ（西播磨県民局長）

●委員及び出席者紹介（事務局）

●議事（進行は会長）：

- (1) 協議会委員及びワーキング構成員の変更について
（資料-1, 2 を用いて事務局が説明）
 - (2) 第 1 回ワーキングでの主な意見について
（資料-3, 4 を用いて事務局が説明）
 - (3) 推進計画の概要について
（資料-5 を用いて事務局が説明）
 - (4) 推進計画に基づいた施策の進捗について
（資料-6, 7, 8 を用いて事務局が説明）
-

会長

それでは意見交換をお願いします。

…

それでは、私の方から、資料 7 河川下水道対策の P7 で河川の土砂掘削の実績をお示しいただきました。

河川にとっては、掘削後の経過年数による土砂の増加量等のデータを蓄積し管理していくという、いわゆる土砂収支の管理が重要になってくると思います。

これは河道整備を実施した場合にはデータが残るとは思いますが、維持掘削の場合、そういうデータは計画的に蓄積されているのでしょうか。

今までは、必ずしもそういう管理をされておらず、3割たまったら掘削をして、という管理のされ方だったかと思いますが、これからは、持続的に維持管理を行っていくためには、土砂収支管理が重要になってくるとは思いますが、如何でしょうか。

県関係課室

土砂収支を管理しているかという点、今時点では出来てないというのが実情です。

私の記憶では過去に大規模な土砂掘削を行った事例はあまり無いのではないかと思います。

平成 16 年に兵庫県下で円山川をはじめ非常に大きな災害がありましたが、県として平成 16 年以降、かなり網羅的に大量の土砂を掘削しています。ですので、そのころからの記録ということであれば、今であればきっちりと整理をしておくことが出来ると思います。

会長

河川地形が河川物理環境の土台となっておりますので、おそらくこれからはそういうデータの蓄積が必要になってくるのではと思った次第です。皆様の方からご意見ございませんでしょうか？

…

もう一点よろしいでしょうか、

校庭貯留の設計を行うということですが、これが教育に及ぼす影響、学校側のご意見というのは把握しておく必要があると思います。

こちら側は治水効果を発揮すればいいわけですが、それとトレードオフの関係になって、例えば授業の時間に関わってくる、又は体育の授業に影響が出る等、教育の方への影響というのは、どのように把握されていますでしょうか。

事務局

ご指摘の通り、校庭貯留を実施しなかった場合に比べて若干、グラウンドが乾くのが遅れるということは考えられます。

普通の雨では水はすぐ引くため問題はありませんが、一定以上の雨が降ればそのようなこともあると思いますので、それは調査設計していく中で、学校と調整し理解を得た上で、進めていきたいと考えています。

県関係課室

現在のところ、学校からの聞き取りでは、授業への影響はほぼ出ておりません、と言いますのは、極力授業、イベント等に影響がない時期に集中して工事を行うようにしています。

湛水した水についても、半日程度で吐けるように設計しておりますので、翌日の体育の授業等にもあまり影響がないということを聞いております。別件ですが、授業に絡んでということで、実業系の学校で校庭貯留を実施する際には、授業の一環で生徒さんと一緒にするようなことも検討して、教育委員会の方と調整しているところでございます。

会長

ありがとうございます。

より多くの学校に広めていく為に、どれくらいの手間暇がかかるのか、かからないのか、教育、授業への影響があるのか、ないのか、生徒さんのご協力はどれくらい頂かなければならないのか、そのあたりは説明する際の材料として必要だと思います。

既に工事を進めている学校から情報収集の上、次の学校に展開していただいたら、学校側のご理解も得られるのではないかと思います。県としては教育の方も責任を持っていますので、両方とも考えていただいて、総合治水を進めていただきたいと思います。

その他いかがでしょうか？

県民委員

河川の復旧工事が大詰めに来ておりました、大変喜んでおります。景観自体も変わってきて非常に綺麗になるし、環境も変わってきたと思います。

先ほど、説明の中で平成25年の大雨でも水位が下がっているという説明がありました。前と比べたら、水位が下がっているのだと思います。

しかし問題として残っていますのが、工事中ということもあると思うのですが、堤外水路に土砂が結構貯まっています。

堤外水路は、防災にも使えるし、火災にも使えるし、いつも水が流れるということで衛生上も非常に良いと考えています。

そのような意味合いもあり、堤外水路を残したわけですが、堤外水路に土が貯まるということで、県や町にも結構相談させていただいております。町にしても県にしても一生懸命やっております。これは、結局は農業で農林振興課の問題になっていくのだと思うのですが、出来るだけ橋渡しができるように土木さんに理解して頂きたいと思います。

河川工事が完成した後、堤外水路にどのくらい土砂が貯まるかについては、予測できない状況なので、これからについて、土木さんも含めて、みんなで考えていきたいと思っています。以上です。

県関係課室

改修工事でいろいろご心配をおかけしております。現在の川の状況から申し上げますと、まだ河川の工事、川を広げたりとか、河床を掘ったりしている状況です。そういった中で堤外水路が出来上がり、供用して頂いている状況で、ご迷惑をおかけしているのかと思います。川に貯まっている土砂が、川を広げることによって、移動して、堤外水路部分に溜まったり、また下流の方にいったりといったことを繰り返している状況でありまして、我々としましては最終的に川の形状が出来た時に、きちっと取水出来るか、土砂が溜まりやすくないかを見まして、必要に応じて、追加対策をとらせて頂きたいと考えております。

我々もすぐ土砂がたまる堤外水路を作ろうと思って作っているわけではないので、そのあたりはきちっと検証していきたいと考えています。

今しばらくご辛抱いただくのと、最終的にきちっとしたものにしていこうと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

会長

ありがとうございました。

その他いかがでしょうか？

県委員

資料6-2のP27、田んぼダムについてですが、佐用の水害を経験した我々としては、本事業を5周年のメモリアル事業として位置づけたいと考えているところです。そのような中で、各市において県と共同で普及啓発の実施と記載して頂いたんですが、来年100ha、3年で600haという目標に向かって進めていくために、各市町で具体的な目標数値をある程度もった上で、進めていくべきではないかと思いますが、いかがですか。

会長

田んぼダムの進め方でございますが、いかがでしょうか。

県関係課室

田んぼダムにつきましては今年 10ha の実験をやっております。

来年以降は 100ha、10 倍とさせて頂いておりますが、具体的な数値は出ておりません。各市町につきまして、各市町 1 集落約 15ha として約 100ha ということにさせて頂いております。

翌年度以降、100ha、200ha、300ha と水に落ちた波紋のように順次広がっていくと想定して計画を立てております。

また、この 3 月に市町の担当職員を対象にした研修会を予定しております。

その際に、検証結果の報告も含めて市町への理解促進と今後の普及啓発をお願いしていきたいと考えております。

さらに、6 月の梅雨入り前からの実施に向けて、候補地を選定していきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

会長

ありがとうございました。その他いかがでしょうか

…

田んぼダムの実験結果をお示し頂いているのですが、この実験結果を見ますと、簡単な水理構造ですので、どれくらい雨が降ったら、どれくらい溜まって、流出が抑制されるといったことが、この実験結果をベースにした流出モデルのようなものが出来るのではと思います。

そのような解析ツールがあれば、どこにどれだけ田んぼダムを実施したら流出がいくら抑制されるというようなことは机上の計算でできるように思いますので、今回の 3 ケースの実験結果を普遍的に適用できるような、モデル化をして頂いたら良いのではないかと思います。

今回お示し頂いているのが一番大きな貯水位が 7cm のケースについてピーク水位×田んぼの面積の単純計算での貯留量を説明されていますが、これは少し乱暴といえますか、それでこれだけのダムの治水効果があるという話にはならないかと思っておりますのでピーク流量がカットできる機能をもう少し技術的にお示し頂きたいと思っております。

また、農地についてですが、肥料がまかれているわけで、普通の土地よりも栄養の多いところに水をためるといことで、それが川に排出されるときに大丈夫なのかと、これは農業水利の観点と思っておりますが、ご検討頂きたいと思っております。

その他、ご意見ございませんでしょうか。

県関係課室

貴重なご意見ありがとうございます。

田んぼダムについては、モデル地区で推進する事業ということで出来るだけ農家で取り組みやすい、分かりやすいといった進め方をしていきたいと思っております。

そのあたりを踏まえまして、これからも取り組んでいきたいと思っておりますので、ご指導よろしく申し上げます。

田んぼダムで取り組もうとしているのは、稲を植える水田だけを考えております。畑作物につきましては水に弱いところもありますので水稲だけを考えております。水稲につきましては、1 日程度の湛水では大丈夫という報告もあり、問題無いと考えております。

会長

ありがとうございました。

その他、進捗状況につきまして質問ございませんでしょうか。

…

もし無いようでしたら、推進計画の見直し案についてという議事に進みたいと思っております。

昨年度、計画を策定して以降の状況の変化や計画の熟度が上がりスケジュールが具現化した等で、計画の見直しが必要になっている箇所があるようですので事務局から説明をお願いします。

(5) 推進計画の見直し(案)について
(資料-6, 7, 8 を用いて事務局が説明)

会長

ありがとうございました。

まず先ほどの進捗状況に対して、いくつか意見がありましたが、私の理解ではいずれも、今ご説明いただいた見直された計画をさらに変えるような意見は無かったと理解しております。

その中で、前年度の計画をさらに具体的に進めていく、あるいは加速するための推進計画の見直し案ばかりであったかと思います。荒廃溪流の整備であるとか、モデル施策、具体的に設定して頂いておりますので、むしろ計画は加速されていく方向の見直し案をお示し頂いたかと思います。

ご意見をいただけましたら幸いです、いかがでしょうか。

...

総合治水推進に際しては、河川改修とかダムといった、既定計画により進める事業以外の部分は合意形成の状況、社会の状況によって進めることが出来るようになる施策、あるいはもう少し時間がかかる施策など、その年度毎にいろいろ状況が推移していくものだと思いますが、そういった意味で計画は見直しが必要になってくると思います。

基本方針のところは全然変わっておりませんが、アクションプログラムの部分は、施策を推進する為に推進計画の変更が必要になってくるのではないかと思います。

...

先程の進捗状況のところでも結構ですので、ご質問があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

...

先程の進捗状況のところに戻るんですが、森林管理 100%作戦の進捗率が 9%というご説明があったのですが、これはどういう意味でしょうか。

進捗率の定義も含めてご説明頂けますでしょうか。

県関係課室

森林管理 100%作戦につきましては、間伐を公的関与でやっていこうということで、国庫補助事業により進めております。

具体的に申し上げますと、国庫補助率が 51%、残りの 49%を県と市町で負担をしまして、所有者負担なしで間伐をやっていこうということでございます。現在は、2 期目の 2 年目となりましたが、1 期目は全県で 8 万 ha くらいだったかと思います。間伐を実施してほぼ計画通り実施しました。

そこで、2 期目に入りましたわけですが、国の制度が若干変わりました、間伐も今までは山で切り倒すだけで良かったのですが、その切り倒したものを運び出すというのが、国の基本方針になりまして、なかなか道がないと運べないということもございまして、進捗が計画の半分くらいになっているという状況でございます。

会長

そうすると、進捗率はこれからスローダウンする可能性があるという理解でよろしいでしょうか。

県関係課室

スローダウンといたしますか、道をたくさんつけまして、出来るだけ計画通り進めていきたいということで、計画量も5万haくらいと間伐対象自体が減ってきておりますので、これからペースアップしてやっていきたいと思っております。

会長

そうですか。わかりました、ありがとうございます。

計画の見直し案につきましては、ご意見いかがでしょうか。

…

いずれも、大歓迎な見直し案だと思いますので、御異論がないのかなと理解しております。

それでは全体を通して意見交換、ご質問等がございましたら。

…

もし、ないようでしたら、これで予定の議事を終わりたいと思っております。

本日は各委員におかれまして、長時間にわたりまして、熱心に御議論いただきましてありがとうございます。

本日の協議会の結果を踏まえまして、県におかれまして推進計画が見直されると思っております。それにより、さらに総合治水が推進されると思っておりますのでご協力をお願いします。

本協議会につきましても来年度もフォローアップを目的として協議会を行う予定でございますので、今後ともご協力お願いいたします。

これで議事を終了いたしますので、進行を事務局にお返しします。

●今後の予定（事務局が説明）

●あいさつ（西播磨県民局長）

●閉会